

第23章 北部地域の概況

I. 北部地域の概要と経済動向

I-1. 北部地域の概要

図表 23-1 北部地域に属する州

地域名	属する州名
北部 (Região Norte)	ロンドニア州、アクレ州、アマゾナス州、ロライマ州、パラ州、アマパー州、トカンチンス州

北部地域はアマゾン川等の水系を有する 7 州から構成され、広大な熱帯雨林を擁している。5つの地域区分の中ではもっとも広大だが、土地の利用は進んでおらず、経済活動、人口集積ともに低水準に留まっている。現在のブラジル政府は「世界の肺」とも呼ばれるこの地域の環境を保護することを重視しており、今後も一部の都市を除き、引き続き開発は抑制されるであろう。

I-2. 経済動向

当地域の域内総生産は約 1,547 億リアル（2008 年）であり、これはブラジル全土の 5.1% 程度に過ぎない。ただしその名目成長率は年平均 12% 程度であり、これはブラジル全土の成長ペースよりも高い水準にある。

北部地域において高度に集積が進んでいる都市は、政策的に工業化が図られたマナウス（人口約 180 万人）や、内陸水運と海運との積み替え港の機能を果たすベレン（人口約 139 万人）など、ごく少数に限られている。

I-3. 事業環境

上述のとおり、北部地域は広大な天然の森林に覆われており、未利用の領域が多い。そのため陸上交通網の整備も進んでいない。アマゾン川およびその支流を活用した内水路は整備が進められており、貨物輸送に重要な役割を果たしている。

外国企業が立地を検討する先は主にマナウスである。同市には政府主導で各種の投資優遇政策が設けられているのは第一部に記載したとおりである。